

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 ハニーバジャー・エクストリーム 2024	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.540	△RG 0.048	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ハニーバジャー・エクストリーム 2024

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ

番

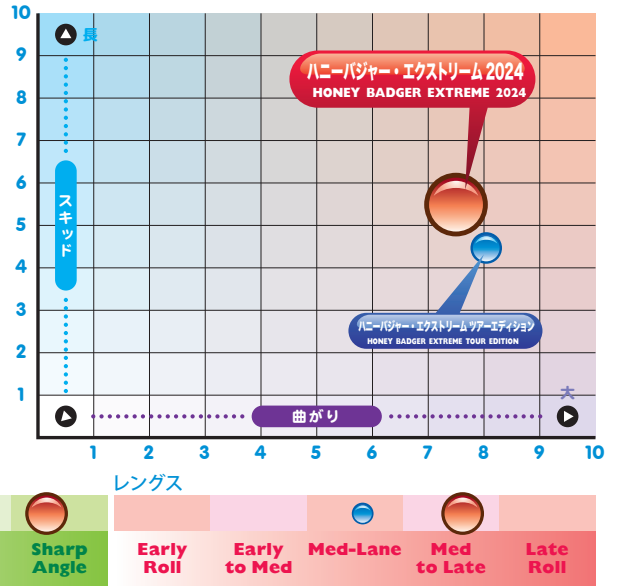
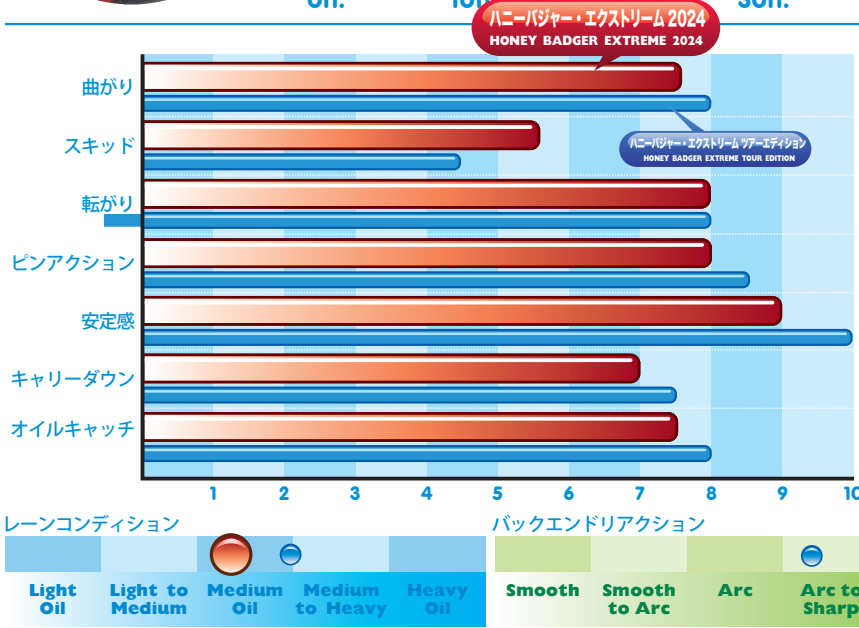
比較対照ボール：ハニーバジャー・エクストリームツアーエディション

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ

番



ボールの評価

来年2月にダリア・パヨンク プロの来日が決定し、全国縦断ツアーが開催されるにあたり、今までにない特別仕様のダリアモデル3種類が発売されます。そのうちのひとつが今回発売されるHONEY BADGER EX 2024です。今までS74系統のカバーストックを主軸として作成され、走りと切れを開発コンセプトとして掲げてきたシリーズでしたが、今作は、HONEY BADGERの特徴を活かしながらか切れ感はそのままだにオイルキャッチを強めた、今までのHONEY BADGERには出せなかった1ランク上の性能で発売されます。HONEY BADGERと言えばGrapnel 2.0 Asymmetricコアと言われるほど、その独特な形状とバックエンドの動きが特徴的です。また動きの鋭さから多くの日本のユーザーに支持され、このモデルは”先の動きを求めるボール”として購入される方も多いことでしょう。

PearlやHybridの素材もさることながら9月に発売されたHONEY BADGER EX TOUR EDITIONは、Solid素材の滑らかな動きのなかに先の動きを捉えることのできる性能で、Grapnel 2.0 Asymmetricコアの汎用性が突出しているのが分かります。彼女は今回自分のモデルとしてDREAM SHIFT 77で採用されたS77M Pearl Reactiveを選びました。

彼女がHONEY BADGERに求める総合評価で一番扱いやすさと共に動きのバランスの総合評価が高かったのがこのコアとカバーの組み合わせであり、配色も含め彼女の意見が多く取り入れられたボールです。今回のツアーに合わせ、日本のコンディションを意識して作られており、HONEY BADGER の特徴を十二分に発揮できるでしょう。

特記事項

来日に合わせ3種類のボールが用意された中の第一弾のボールで、日本で人気のHONEY BADGERのダリアモデル。HONEY BADGERの性能を1ランク上げたオイルとバックエンドの動き両方を強化させた性能です。